

船橋 YMCA 通信



No.29 2006年3月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(04)7145-3403



金杉台小で車椅子体験教室

1月31日(火)の午後、船橋市立金杉台小学校(船橋市金杉台2-1-7)の6年生76名を対象に車椅子体験教室を実施しました。



数日前の雪で足元の悪い中、船橋市障害者友の会のメンバー6名の協力を頂き、開催しました。

体育館の中で体験の目的、車椅子の扱い方、車椅子利用者の体験談等を聞いた後、直線走行、障害物・曲線走行等を生徒と友の会のメンバーとで体験しました。雨まじりで寒い体育館でしたが校長先生を含めて皆の熱気で寒さを忘れる程の体験教室となりました。



最後に生徒から障害者との関わり、車椅子の扱い等貴重な体験が出来た事に対する感謝の言葉がありましたが、期せずして友の会メンバーからも生徒に対する感謝の言葉があり充実した体験教室でした。



車椅子体験教室の感想文

昨年(2005)の11月11日(金)に船橋市立八栄小学校で実施した車椅子体験教室に出席した子どもの感想文です。

ふつうに歩いていたら気がつかないような段差でもひっかかってしまうので、車いすに乗っている人も、車いすをおす人もかなり神経を使っていたかれました。バリアフリーのたてもものとかはできるけど、ふつうの道路すべてを車いすで通りやすくするのはかなり難しいと思いました。

また、車いすに乗りながら自分でこぐときは、ふつうの道路ではかなりつかれてしまうので、老人や子供が一人で外出するにはとても不便だと感じました。自分で乗って、おしてもらっていると、ふつうに歩いている人よりも目線が低くなるので、車や自転車が通ると、かなりこわかったです。となりに人がいると安心して乗れました。

2月の“わんぱくクラブ”

今回は千葉市にある少年自然の家でお泊まりをしてきました。

一日目は物として思い出に残る“木のペンダント作り”をしました。子ども達はペンダントに好きな絵を書き、裏に自然の家の焼き印をして完成した物を手にとりながら、「次回の活動につけて行くよ！」と嬉しそうに話してくれました。



また“スモアーズ”では、普段の生活ではする事の出来ない焼きマシュマロをやり、マシュマロの美味しさと焼く楽しさで子ども達は終始笑顔でした。

夜に行われた“ナイトハイク”では、自然がいっぱいの環境で光があまり無い幻想的な場所を歩きました。天候は残念ながら雲っていましたが、時折



見える星に対して「あっ！星が見えた。綺麗だな〜。」と感動していました。

2日目の“ボルダリング・クライミングウォール”では登っているお友達に対して「頑張れ！あと少しだよ」と応援していました。また、登りきった子ども同士で握手をする場面も見られました。

今回のお泊まりでは日常生活では体験出来ないものが体験でき、とても有意義なものになりました。
飯海 優(わっしょいリーダー)

チャリティーラン開催日決定！

今年の千葉YMCAチャリティーランの開催日は、10月21日(土)に決まりました。今年のチャリティーランは、スポンサーもランナーも昨年以上に増やしたいので、ご協力をお願いいたします。

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの1月、2月の活動記録です。

- ・1月14日(土)そらまめクラブ「あおぞら」

内容：凧揚げ

主材料： ビニール、竹ヒゴ、タコ糸

参加者：5名、リーダーOG1名参加

- ・1月16日(日)わんぱくクラブ1月例会

場所：生涯学習センター

内容：パウンドケーキ作り

参加人数：14名

- ・1月31日(火)車椅子体験学習会

場所：船橋市立金杉台小学校

参加者：6年生76名

ボランティア：6名(船橋市障害者友の会)

- ・2月19日(日)わんぱくクラブ2月1泊例会

場所：千葉市少年自然の家

内容：ネイチャークラフト(木のペンダント)

マシュマロ焼き、田んぼで顕微鏡を使

って微生物を見よう、ナイトハイク、

クライミングウォール

参加人数：10名、リーダー5名

編集後記

車椅子体験教室は、その輪を着実に拡げつつあります。YMCAらしさがあるよいプログラムですので、今後もきちんとサポートしていきたいと思っています。
(槇)